

第19回肢体不自由教育研究大会

開催日：平成28年8月3日（水）

会場：宮崎県立延岡しろやま支援学校

1 大会日程

9:45 10:00 10:15

12:15 13:30

15:15 15:30

受付	開会行事	○講演 「重複障がいのある子どもの教科指導の在り方」 ～自立活動の指導との区別をふまえて～ ○講師 福岡教育大学 准教授 一木 薫 氏 ○会場：地域教育支援センター多目的室	昼食・休憩・校内見学	○情報交換会 ①自立活動 ②キャリア教育および進路指導 ③校外体験学習および交流学习 ④学習指導 ○会場：延岡しろやま支援学校 わかあゆ棟、ととろ棟	閉会行事
----	------	--	------------	--	------

2 講演内容及び参加者からの感想

演題：「重複障がいのある子どもの教科指導の在り方～自立活動の指導との区別をふまえて～」
講師：福岡教育大学 准教授 一木薫 氏

学習評価が次の教育課程に生かされているか、というカリキュラムマネジメントの話に始まり、根拠のある教育内容であるか、「教科」と「自立活動」の実態把握はプロセスが違う、子供の学びの連続性を確保することなど、多くの大切なことを御示唆いただいた。

自立活動における目標設定については、6区分の内容で十分に実態を把握すること、その中でその子供の目標をどこに設定し、達成するためにどのような指導を行うのかということ。また、教科の指導においては教科の内容の中で実態を把握し、教科の段階をふまえて学びを連続させていかなければならないということ。その目標設定にいたるプロセスの大きな違いを押さえるとともに、学習指導要領を用い、根拠をはっきりさせながらの講演をしていただいた。私たち教員に求められる根拠のある指導、教育内容を自覚することの責任の重さを感じるものであった。

講演におけるアンケートでは、「教科と自立活動の指導目標の設定の仕方等、普段意識せずに取り組んでいることの基盤となる部分について振り返ることができた。」、「日頃の実態把握や目標設定について見つめ直すことができた。」、「根拠や教科指導に照らし、2学期からの指導を見直したい。」など、概ね好評であった。参加者に多くの気付きと、課題を解決していく上で大切な視点をいただくことができた講演会であった。

3 情報交換会

①自立活動 ②キャリア教育および進路指導 ③校外体験学習および交流学习 ④学習指導

参加者に上記の4つのテーマの中から選んでいただき、日々の実践報告や情報交換会を行った。参加者からは「他校の取り組みを知ることができ、とても参考になった。」、「今後の授業に生かせるヒントをいただいた。」、「それぞれの学校の課題で共通しているものもあり、連携をとりながら一緒に考えていきたい。」など同じ悩みをもつ教員同士の情報交換会において具体的に情報交換ができ、意見を出し合えたことは大変意義深いものであった。